



六月廿一日午後六時十分大坂發

黒田

西郷中將

茅三号。茅三号電報ノ趣領事伊集院安田  
 ノ兩人着坂ノ上ハ清舎ノ事委曲承ルヘシ。四國  
 ノ形勢ハ過日北村中佐高知ニ出張小銃及火薬  
 シ多數当地ニ取寄候ヨリ人心徳ナラサル趣ニ付  
 尚探索ノ為メ佐々木議官野田村中佐ノ両名再ニ  
 高知ニ出張遂ニ彼ノ薩州ニ使シタル者兩人ヲ  
 捕縛シ<sup>イ</sup>イヨギ警部護送シテ当地ニ送ル其節イ  
 ヲギノ語ニ蓋形勢切迫ノヨシ申聞ルニツキ平安丸  
 工陸軍士官ヲ乗<sup>レ</sup>探偵トシテ高知ニ遣ル忽チ  
 帰坂其探偵ニ曰ク尔後各社ノ議論蓋沸騰スト  
 至モ社中重立タル者ハ大ニ「サト<sup>元ノマ</sup>トコロカ<sup>ル</sup>」容易ニ

暴舉ノ勢ハナシ唯各社員ノ論退々相合サルヨリ社  
中或ハ輕舉ノ輩トモ出来可申歟尚當時佐々木  
北村モ出張類ニ盡力中ナリ又四國西海岸ヘハ  
陸軍管轄トナシタル東京巡查千二百名ヲ派遣  
シ宇和島ヲ根據トシテ海岸要港ニ備テ戒嚴セ  
シム且七龜エモ二中隊ヲ分遣シ又人心ノ方向ヲ定  
ム一纏ニ為サンツメ河波徳爲ヘ二中隊ヲ派遣セシ  
ム高知ノ近況並ニ西國ノ警備等大略如此○  
又豊後地ノ戦争ハ既ニ電報ニテ及承知ノ通過々進  
撃不日日州地方ヘ追迫ノ勢ナリ其上今度当地ヘ  
山口縣ノ壯兵一大隊ヲ出張致サセタリ尚追々出兵ノ  
見込ニ候其外警備向ハ十分調ヒアルニ付承知マテ  
申入ル

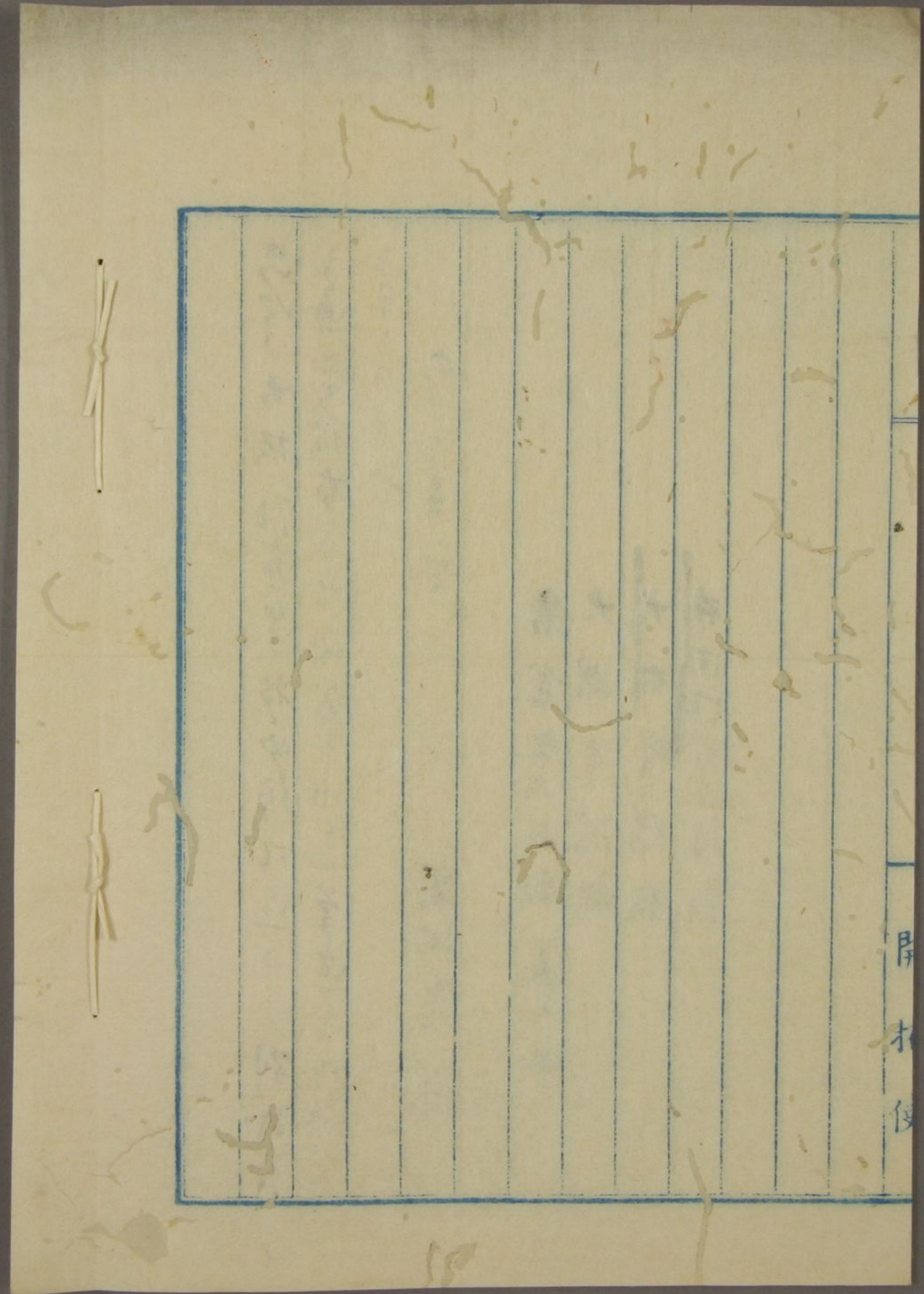
六月廿二。午参十。付四十五。分。方。折。反。

黒田急議

西郷中將

伊集院安田萬法諸ノ主外長各トモ着板  
ニテ今朝面會要細弟リ付テハ昨日電報  
ヲ以テ申入置ル通リ此等渡部中佐徳爲  
ハ出張彼等盡力中ニ付日人ハ要曲添書致シ  
四人トモ先ツ徳爲ヘ出張ノコトニ取極メ其ウチ  
安田、岡地ヨリ豊後路ヘ出張ノ答ニ致シ此  
間此般事心得申入ル





開  
抄  
便